

# 古文ドリル：「べし」の用法識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「べし」の6用法

古文の助動詞「べし」は、**終止形接続**（ラ変は連体形接続）の助動詞。「すいかとめて」と覚える6つの意味を持ちます。

用法	訳	判別ポイント
① 推量	～にちがいない	一般的な推測（主語3人称）
② 意志	～つもりだ	主語1人称、固い決意
③ 可能	～できる	多くは打消「べからず」で「～できない」
④ 当然	～はずだ・～べきだ	道理・必然
⑤ 命令	～せよ	命令的口調
⑥ 適当・勧誘	～のがよい	勧めるニュアンス

「すいかとめて」 = 推量・意志・可能・当然・命令・適当

## 識別の鉄則

1. **主語の人称** を見る
2. 1人称 → 意志
3. 2人称 → 命令・勧誘
4. 3人称 → 推量・当然
5. **打消とセット** → 可能の打消（～できない）
6. 「～べし」の**前後**に「道理」「当然」のニュアンス → 当然
7. 「べし」**だけで命令調** → 命令

## 🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

### コツ① 主語の人称を1秒で確認（これで8割決まる）

- 1人称（我・吾・自分） → 即「意志」（～つもりだ）
- 2人称（汝・君・あなた） → 即「命令・適当」（～せよ／～のがよい）
- 3人称・無生物・自然現象 → 即「推量・当然」（～にちがいない／～はずだ）

例：「我行くべし」 → 1人称 → 意志「行くつもりだ」

### コツ② 「べからず」を見たら即「可能の打消」

「べからず／べからざる」 → ほぼ「～できない」と訳す。「あるべからず」「言ふべからず」など、打消+べしは可能で固定。

### コツ③ 「べきなり」「べきもの」は当然

「べき+なり／もの／ことわり／道理」が見えたら **即「当然」**（～はずだ・～べきだ）。例：「行くべきなり」 → 「行くべきだ」

### コツ④ 「すいかとめて」で迷ったら推量を第一候補に

迷ったら **推量**「～にちがいない」で訳す。古文の「べし」は推量が一番多い。ただし主語が「我」と読み取れたら意志に切り替える。

### 試験本番でのチェック順序

1. 「べし」の **主語** を文脈から特定
2. 人稱（1/2/3）でカテゴリ仮決定
3. 「べからず」なら可能の打消で確定
4. 「べきなり／べきもの」なら当然で確定
5. 残りは推量を基本に、命令調なら命令

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

### よくある引っかけ

- 「べし」を全部「～できる」と訳す → 可能は打消セット（べからず）が中心
- 命令と意志の取り違え → 主語が誰かを必ず確認
- 「べし」の直前が連体形 → ラ変型活用語（あり・なり・たり等）なので接続を間違えない

## 採点表

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

## 【第1部】 基礎編 (Q1~Q20)

6用法を識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

雨降るべし。

Q2. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ行くべし。

Q3. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

君は早く帰るべし。

Q4. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

子は親に孝なるべし。

Q5. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

この本、よく読むべからず。

Q6. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

早く立つべし。

Q7. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ歌詠むべし。

Q8. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風吹くべし。

Q9. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

物食ふべからず。

Q10. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

人は信義を守るべし。

Q11. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

月明らかなるべし。

Q12. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ仕うまつるべし。

Q13. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

君、おとなしくすべし。

Q14. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

学問は若き時に励むべし。

Q15. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

あらゆる事、はかり知るべからず。

Q16. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れもまた行くべし。

Q17. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

月は西に傾くべし。

Q18. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

早く眠るべし。

Q19. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

信頼に値する人なるべし。

Q20. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ歌の道に進むべし。

基礎編 / 20

## 【第2部】標準編 (Q21~Q50)

文脈、係り結び、敬語が絡む応用問題。

Q21. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

物のあはれを知る人、世にあるべし。

Q22. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ風雅を極むべし。

Q23. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

学者の言は、軽んずるべからず。

Q24. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

雪降れば、雪靴を履くべし。

Q25. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

いみじき宿世の人なるべし。

Q26. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

早く出で給ふべし。

Q27. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ仏に仕へ奉るべし。

Q28. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

親を敬ふべし。

Q29. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

心ある人にあらずしては、これを解すべからず。

Q30. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

春には花を愛づべし。

Q31. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ古典の道を究むべし。

Q32. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

君、長く生き給ふべし。

Q33. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

人皆、夢を見るべし。

Q34. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

道は険しかるべし。

Q35. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ仏前に詣つべし。

Q36. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

礼節を守るべし。

Q37. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

都に住む人、皆風雅を解すべし。

Q38. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

妻を愛しむべし。

Q39. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

真夜中に物音、何ぞあらんべき。

Q40. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ若き時に学ぶべきなりけり。

Q41. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

早く帰り給ふべし。

Q42. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

春の野に若菜を摘むべし。

Q43. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

人皆、限りある身なるべし。

Q44. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

子を慈しむべきこと、親の務めなり。

Q45. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れもまた、その道を行くべし。

Q46. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

仏の道は、皆同じくすべし。

Q47. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

海の幸を食ふべからず。

Q48. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ歌を詠むべきことを思ふ。

Q49. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風吹かば、舟漕ぐべし。

Q50. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

いと尊き人なるべし。

標準編 / 30

## 【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

引用構文、係り結び、複雑な接続を含む応用問題。

Q51. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

春来（き）ぬべし。

Q52. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ仕うまつるべき人ぞある。

Q53. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風吹けば、波荒く立つべし。

Q54. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

子を捨つべからず。

Q55. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ静かに住まひすべし。

Q56. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

いみじき才ある人にあらぬべし。

Q57. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風雅を解する人は、世に少なかるべし。

Q58. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

人皆、長く生くべきにあらず。

Q59. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ古都に住まひすべきものなり。

Q60. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

春は若菜を食ふべし。

Q61. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ歌詠まむべき機会あらば、必ず詠まむ。

Q62. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

君や知るべし。

Q63. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

月をめづべき夜ぞある。

Q64. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

親を見舞ふべし。

Q65. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風吹かば散るべき花。

Q66. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

いざ参らせ給ふべし。

Q67. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ風流を解する人にあらぬべし。

Q68. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

物のあはれを知るべき人。

Q69. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

海辺に住まひすべき人にあらず。

Q70. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ家を立つべし。

Q71. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

人は信義をたもつべきもの。

Q72. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

物のあはれを知る人なるべきを、いまは知らず。

Q73. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

法皇、御幸し給ふべきことあり。

Q74. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ仕うまつるべき所、いまだ定まらず。

Q75. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

春雨降るべき夜なり。

Q76. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

雪の高き、しのぎ難からぬべし。

Q77. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ親を孝養すべき人なり。

Q78. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

月清く照るべき夜なれば、なほ趣あり。

Q79. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

いまだ若き身なれば、学ぶべき多し。

Q80. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風吹くべきに、なほ風ぐ。

応用編 / 30

## 【第4部】 入試レベル (Q81～Q100)

---

---

Q81. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

唐土の人は、これをいみじと思へばこそ、記しとどめて世にも伝へ**けめ**、これらは、ただ夢のごとくにぞある。

---

---

Q82. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありや**なしやと問ふべし**。

---

---

Q83. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

いみじき宿世の人に**あらずは**、かかる目に遭ふ**べからず**。

---

---

Q84. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風雅を解する人は、世に少なかる**べきこと**、心得たり。

---

---

Q85. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ仕うまつる**べき主**に巡り会ふ**べし**。

---

---

Q86. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

春雨にぬるる桜の枝、なほ折る**べからず**。

---

---

Q87. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

物のあはれを知らぬ人にあらずなるべし。

Q88. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

心ある人ならむ。よし、ともかくも、頼むべき人にあらず。

Q89. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

君、御身を案じ給ふべき人なり。

Q90. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

物のあはれを知り給ふべき御身なり。

Q91. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風吹けば舟出づべからず。

Q92. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

仏に祈り給ふべきぞ。

Q93. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

我れ歌を詠むべき才あるべきを、いまだ詠まず。

Q94. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

月の都の人ならば、いま帰るべきぞ。

Q95. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

あけぼのの空ぼおぼろにかすめるを、人皆趣ありと思ふべし。

Q96. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

物のあはれを知らんとならば、まづ古典を学ぶべし。

Q97. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

信義をたもつべき人、世に少なし。

Q98. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

風雅を解する人なるべきを、なほ俗にまみる。

Q99. 次の傍線部「べし」の用法を答えよ。

行く川のながれは絶えずして、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、つひに消ゆべし。

合計 / 100

## あとかぎ

「べし」の識別の核心： - **主語の人称**を確認（1=意志、2=命令、3=推量） - 「**べからず**」は可能の打消 or 禁止 - **連体形+体言**は当然・適当 - **道理・必然のニュアンス**があれば当然

「べし」の6用法「すいかとめて」（推・意・可・当・命・適）を必ず暗記すること。

---

**著作権**：個別指導塾フィット / 中本裕太

---

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotennosenensei.com>